

安全データシート

作成: 1998年10月20日

改訂: 2022年 1月24日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : K1036-08
製品名 : ランダイヤ粒剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産部 SQE推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
	可燃性固体	: 区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	皮膚感作性	: 区分1
	呼吸器感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 区分2
	発がん性	: 区分1
	生殖毒性	: 区分1
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分2(神経系)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 臓器(神経系)の障害のおそれ

- ・長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、免疫系、腎臓）の障害
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・飲み込んだ場合：気分が悪い場合は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：S-メチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]チオアセトイミデート／一般名：メソミル

(2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6)-ジエチルチオホスフェート／一般名：ダイアジノン

成分及び含有量	ダイアジノン	3.0%
	メソミル	1.0%
<その他>	キシレン	0.2%
	エチルベンゼン	0.1%
	結晶質シリカ（石英）	65.3%
	酸化アルミニウム	11.4%
	鉱物質微粉、界面活性剤 等	19.0%

化学式： $C_{12}H_{21}O_3N_2PS$ / ダイアジノン

$C_5H_{10}O_2N_2S$ / メソミル

官報公示整理番号：	化審法	(5)-923	ダイアジノン
		(3)-3	キシレン
		(3)-28	エチルベンゼン
		(1)-548	結晶質シリカ（石英）
	安衛法	8-(2)-458	ダイアジノン

CAS No. : 333-41-5 / ダイアジノン

16752-77-5	／メソミル
1330-20-7	／キシレン
100-41-4	／エチルベンゼン
14808-60-7	／結晶質シリカ（石英）
1344-28-1	／酸化アルミニウム

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。

メソミル、ダイアジノンアルカリ性になると分解しやすいので、石鹼を使用する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋を使用するなど注意する。直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。安静にして、身体を毛布等で保温する。

医師には有機りん、カーバメートを含む製剤による旨申し出る。メソミルの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤が、ダイアジノンの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤、PAM製剤が有効である。回復後は、血液コリンエステラーゼ活性値が正常に戻るまで数週間～数ヶ月は、有機りん剤、カーバメート剤等の農薬の取り扱いを避ける。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

使ってはならない消火剤：データなし

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガス（一酸化炭素、硫黄酸化物、窒素酸化物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。少量の水を散布し飛散を防止して作業する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管：直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。劇物は、貯蔵庫に施錠して保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度：キシレン 50ppm（作業環境評価基準 厚生労働省告示第369号 平成16年10月1日）

エチルベンゼン 50ppm（作業環境評価基準 平成13年4月6日）

許容濃度：ダイアジノン 0.1mg/m³（皮） 日本産業衛生学会勧告値、ACGIH（2000年）

メソミル TWA 2.5mg/m³/8hr ACGIH(2000年)
 キシレン 50ppm 日本産業衛生学会勧告値(2009年)
 キシレン TLV-TWA 100ppm ACGIH(2009年)
 シリカ TLV-TWA 0.025mg/m³ ACGIH

設備対策：取り扱いについては、密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防護マスク

保護手袋：保護手袋（ゴム手袋）

保護眼鏡：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

保護衣：作業着、帽子、保護服

9. 物理・化学的性質

外観等 : 灰褐色細粒
 臭い : データなし
 pH (10倍希釈液) : 6.3(参考値)
 融点・凝固点 : データなし
 沸点・初留点及び沸騰範囲 : データなし
 引火点 : データなし
 自然発火点 : データなし
 燃焼性 : データなし
 爆発下限及び爆発限界上限界/可燃限界 : データなし
 相対ガス密度 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 密度及び/又は相対密度 : 0.84(参考値)
 溶解度 : データなし
 n-オクタノール/水分配係数(log値) : データなし
 分解温度 : データなし
 動粘性率 : データなし
 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の保管環境下で安定
 反応性 : メソミルはアルカリ性で分解する。
 ダイアジノン[△]はアルカリ性で徐々に分解、酸性で分解する。
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : データなし
 混触危険物質 : データなし
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : ラット(♂ ♀) LD₅₀ 923 mg/kg
 急性毒性（経皮） : ラット(♂ ♀) LD₅₀ 5,000 mg/kg 以上
 急性毒性（吸入：蒸気） : データなし
 急性毒性（吸入：粉じん） : データなし
 皮膚腐食性/刺激性 : データなし
 眼に対する重篤な損傷/刺激性 : データなし
 呼吸感受性 : データなし
 皮膚感受性 : データはないが、区分1のダイアジノン[△]を1%以上含有することから、区分1とした。
 生殖細胞変異原性 : データはないが、結晶質シリカ[△]が区分2に分類されることから区分2とした。
 発がん性 : データはないが、区分1Aの結晶質石英[△]を0.1%以上含有することから、区分1とした。

ACした。

- 生殖毒性 : データはないが、区分1Bのキシレンおよびエチルベンゼンを合計で0.3%以上含有することから、区分1とした。
- 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） : ダイアジノンとして区分2（神経系）、メソミルとして区分1（神経系）、酸化アルミニウムとして区分3（気道刺激性）として分類されている。メソミルが1%以上含まれていることから区分2（神経系）とした。
- 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） : ダイアジノンとして区分2（神経系、腎臓、肝臓、精巣）、メソミルとして区分2（神経系、血液）、キシレンとして区分1（呼吸器、免疫系、神経系）、結晶質石英として区分1（呼吸器系、免疫系、腎臓）、酸化アルミニウムとして区分1（吸入：肺）として分類されている。このうち、結晶質石英および酸化アルミニウムが10%以上含まれていることから、区分1（呼吸器系、免疫系、腎臓）とした。
- 吸引性呼吸器有害性 : 区分1に分類されるエチルベンゼンを含むが、その含有量が10%未満であることから分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

- 生態毒性 魚 : データなし
- 甲殻類 : データなし
- 藻類 : データなし
- 水産動植物への影響試験成績はないが、3%含まれるダイアジノンのミジンコに対するEC50が0.0002 mg/Lであることから、区分1とした。
- 残留性／分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし
- その他 : 魚・水棲動物に毒性がある。

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

毒物及び劇物取締法の定めに従う。（容器等級3）

- 国連分類 : クラス9（有害性物質）容器等級Ⅲ
- 国連番号 : 3077（環境有害物質、個体）
- 国内規制
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
- 陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。

1 5. 適用法令

- 農薬取締法 : 登録番号 第14640号
- 消防法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 第18条の2（通知対象物質）：ダイアジノン（政令番号342）
第18条の2（通知対象物質）：メソミル（政令番号595）
第18条の2（通知対象物質）：キシレン（政令番号136）
第18条の2（通知対象物質）：エチルベンゼン（政令番号 70）

第18条の2(通知対象物質):酸化アルミニウム(政令番号189)

第18条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(石英)(政令番号312)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定物質 248号 ダイアジノン

第一種指定物質 443号 メソミル

毒物劇物取締法 : 指定令第2条10 劇物 ダイアジノン(3%以下は除く)

指定令第2条100の8 劇物 メソミル

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律(P) : メソミル

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律(PP) : ダイアジノン

船舶による危険物の運搬基準等を定める告示 : 毒物

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献 :
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会
 - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件2,000円)は弊社が負担いたします。